

希望の園便り

= 第 195 号 = 令和 7 年 3 月 21 日発行

発 行 障がい者支援施設 希望の園
責 任 者 阿 部 京 子
T E L 0197-24-6688
F A X 0197-24-6699

編集・企画 希望の園広報委員会
印 刷 あべ印刷株式会社
U R L https://www.aigokai.jp/engo_kibou/
E-mail kibou@aigokai.jp



〈トナカイさんからプレゼントをもらいました〉

令和六年度を振り返って

副園長 高橋 由紀子

令和六年度の希望の園は三十七名の利用者さんと二十九名の職員でスタートしました。利用者状況として、九月に入院療養中の男性一名が逝去され、十一月に女性一名が入所されました。職員動向では、六月と十二月にパート支援員が増えています。

環境では、前年度から進めていたサッシガラスのペアガラス交換について、男子棟で実施しました。また、浴槽のお湯がたまりにくいことから男子棟と厨房をガス給湯に交換しています。女子棟については次年度の取り組みを計画しています。その他にも寮内ドア修繕や、コンセント増設、女子脱衣室の手摺設置など、安全に生活できるように改修を実施しました。

行事についてはコロナ前の状況に戻りつつあるものの、大勢での会食については控えている状況です。行事での様子を大ポスターにして頂き寮内に掲示し皆さんで楽しんでいきます。

羽田小学校の皆さんありがとう

生活支援員 菅原 康平

今年も羽田小学校の皆さんから気持ちのこもったお手紙と学校での様子を写した写真を頂きました。希望の園からはノートと鉛筆を贈りました。交流会と言う形では何年も実施していませんが、今回は希望の園に代表の生徒さんが来園し、直接お手紙を渡して頂きました。玄関ホールに飾って毎日、利用者さん達と眺めております。ありがとうございました。



クリスマスチャリティー公演

生活支援員 徳山 由加利

北上さくらホールでクリスマスチャリティー公演の「ふたりのロツテ」を鑑賞するため外出して来ました。用意されていた席は最前列で特等席でした。

久しぶりの外出だったこともあり皆さん大変喜んで、身振り手振り、全身を使って音楽に合わせて体を揺らしていました。公演の内容もよかったです。利用者の皆さんの喜んでいる笑顔がとてもうれしかったです。



クリスマス会

生活支援員 小澤 正恵

十二月二十三日にクリスマス会を行いました。

今回は、「奥州カルチャー」の御三方が来園し、手品、歌、踊り、演奏を披露して頂きました。利用者の皆さんは、盛大に盛り上がり、手拍子をしたり歌を歌ったりと、とても楽しんでいる様子でした。その後の行事食も美味しく頂きました。希望の園のブログにも更新していますので、是非御覧下さい。



節分

生活支援員 佐藤 海

二月三日、玄関ホールにて節分行事を行いました。職員から節分と恵方巻の話聞いた後、玄関から金棒を持った怖い顔の鬼が登場しました。年男・年女の利用者さん四名を中心に皆で一生懸命豆を撒いて鬼を追い払いました。退散した鬼がその後改心し、穏やかな顔となって現れ、皆にミニどら焼きを配りました。笑顔でおいしくいただきました。

地域生活体験

生活支援員 尾形 美栄

十一、十二月は調理体験を行い、パンケーキ作りやロールケーキのデコレーションに挑戦し美味しく頂きました。

一月は大きな紙に墨汁と筆を使い、書初めをしました。一人ずつ順番に書いてもらいましたが、自分の名前を書いたり、絵を描いたり、漢字で『元旦』と書く方もいました。年初めから笑いが絶えず楽しい時間を過ごせました。

12/23 クリスマス会



節分豆まき



希望の園 スナップ写真



羽田小学校の皆さんと



魚釣りゲーム



1/2 書初め



施設入所支援

施設入所支援部長 千葉 陽志

新年を迎え間もなくのことでしたが男子棟でコロナが発生しクラスタとなってしまいました。皆様方にご心配、ご迷惑お掛けしましたことを、この場を借りてお詫び申し上げます。幸いなことに重症者は一人も居らず女子利用者への罹患も免れ、月末までかかりましたが終息することができました。ウィルスはどこから持ち込まれるか解らない状況の中、時期的なものもありますが今後も気を引き締めて利用者支援をしていきたいと思えます。

健康管理

看護師 熊谷 秀一

暖かくて柔らかい日差しが差し込むようになってきました。これから日増しに暖かくなり、春を感じるのが楽しみです。季節の変わり目は自立神経が乱れやすく体調を崩しがちです。食事、活動、睡眠の生活のリズムを整えていきましょう。

日中活動

生活介護部長 岩淵 香

後期の活動として、冬季間で外に出る機会は少なかったですが、天気の良い日には日光浴や散策をして外の空気を感じることができました。又、季節に応じた塗り絵で廊下や食堂を華やかに飾ることができました。

開所日には、収穫したリンゴでジュースを作り「おいしい」とたくさん笑顔が見られました。皆で楽しい時間を共に過ごせた一年間であったと思います。



だるま落としゲームです

食生活

栄養士 伊藤 淳子

利用者さんの高齢化が進み、今年度に入り、ムース食三名、ミキサー食が二名増えていきます。嚥下の低下により、ミキサー食でも咽てしまう方もいるため、摂食状況を見ながらトロミを付け、個々にあった食事の提供に努めています。食事は体の健康のためだけでなく、心の健康にとっても大きな意味をもっているため、行事食や季節の食材を活用し、メニューに変化をつけ、利用者さんに食べる楽しさを味わっていただけるよう、今後も努力していきたいと考えています。

着任職員挨拶



パート生活支援員
石川 恵美

令和六年十二月よりお世話になっております。利用者さんが豊かな生活ができるような支援を心掛けたいと思いますので、ご指導よろしくお願いいたします。

今後の行事予定

- 4月1日 自治会総会
- 4月5日 希望の園家族会総会
- 4月23日 自治会活動日
- 5月10日 法人創立記念日
- 5月10日 家族交流会

編集★後★記

連日、全国ニュースで大船渡の山火事を取り上げられていました。

二月十九日に大船渡で山火事が発生し、六日後の二十五日によつやく鎮圧されました。その後も陸前高田市、大船渡市で山火事が相次いで発生しました。二十七日には一人が亡くなったとのことでした。

消火活動を行っている方々、避難生活をしている方々など普段と異なる生活を強いられ、心労が絶えないことと思います。一日も早い平穏を願っています。

【貴幸】